



人のチカラを、**三つの塾**で町の底力に。



四万十塾

アイデアを磨き、新たに挑戦する人材を

四万十塾は、地域の魅力を活かし、課題解決や活性化に挑む人材を育てる拠点です。高知大学との連携により、起業・創業支援だけでなくスポーツ教室などの幅広い講座を展開。起業への関心を高める講座やプランの実現を後押しする「チャレンジアワード」によって、ゲストハウスや親子カフェなど、現在も継続する複数の事業が生まれました。

また、新たな学びを求める層に向けてはしまんと未来大学などを開講し、多様な知見の提供を通じて地域活性化への関心を高める人材の育成にも注力。

今年度は、事業化への一貫した支援を構築するため、商工会や県の補助事業とも連携の深いにぎわい創出課と共に取り組みを進め、挑戦者が着実に歩みを進められる環境を整えてきました。

積み上げた、10年の記録

「じゆうく。」から羽ばたいた卒業生の活躍、講座から生まれた多彩な発想、そして町に根付いた新たな起業数の実績です。(R8.1.31現在)



未来塾

次代を担い、町を愛する若手を育む

未来塾は、町への愛着と誇りを持つ若手を育てる拠点です。高校魅力化の一環として、魅力化コーディネーターを高校へ配置、海外研修や各種助成制度など、多角的な支援を展開してきました。

特に町営塾「じゆうく。」では、一人一人の進路実現に寄り添う放課後の学びの場を提供。進学実績のみならず、生徒や保護者からも高い信頼を得ています。

ここで地域を深く知り、多様な大人と触れ合った経験は、進学や就職で一度町を離れたとしても、それぞれの場所から故郷を想い、関わり続けるための確かな基盤となっています。



産業振興塾

地域資源を活かし、産業を支える担い手を

産業振興塾は、農業を中心とした産業を支える人材を育てる拠点です。多様な農家がつながる「農業者ネットワーク」を組織し、研修やワークショップを通じて、販路拡大や商品開発にも努めてきました。

現在は、既存団体との活動の整合性を図り、農林水産課へと活動を引き継ぎ、地域産業を支える人づくりの歩みをさらに進めています。



特集

形を変えて、 人づくりは未来へ続く。

撮影/2017年4月

～ 10年の志を基盤に、次なるステージへ～

「人づくり」を最重要課題に掲げて10年。三つの塾を柱に、自ら考え、挑戦する人材を支えてきた歩みは今、町の景色を変え始めています。

かつての空き店舗には新しい店が灯り、店主と住民の間には温かな会話が生まれ、培われた「志」は今、次なる未来へとつながり始めています。



この十年の挑戦は、着実に実を結びつつあります。学生時代の学びを糧に町の担い手となった若者や、自分の「やりたい」を形にして、町の新しい魅力を生み出す人たちが、彼らのひたむきな姿は、町の新しい活力となっています。こうした変化の起点となったのが、人づくりの柱となる個性豊かな「三つの塾」でした。

芽吹き始めた十年の成果

地域の愛着と誇りを持ち、自ら目標に向かって挑戦する。そんな人材の育成を掲げ、町を挙げた人づくりの挑戦が始まりました。

加速する人口減少や地域経済の縮小、そんな厳しい現実にも、町長は「人は財(たから)であり、育成こそが未来の基盤」と定義。平成28年3月に「四万十町人づくり戦略」を策定し、その後人材育成推進センターを設置しました。

空き家が目立ち始め、シャッターを下ろす商店が増えていく。十年前、目に見えて活気が失われつつあった町の姿に私たちは危機感を抱いていました。

危機感から生まれた、人づくり

空家が目立ち始め、シャッターを下ろす商店が増えていく。十年前、目に見えて活気が失われつつあった町の姿に私たちは危機感を抱いていました。